

地域の未来を育む第一歩 果樹トレーニングファーム開講



果樹トレーニングファームは、地域の農業を次世代へつなぐために、梨や柿の

果樹栽培で農業を始めようとする方を支援するプログラムです。八頭町農業公社が研修生を受け入れ、町内の受け入れ農家から栽培技術を学ぶとともに、JAや県、町などの関係機関が連携して経営の基礎を教える研修も行います。研修終了後には、農地の確保などの支援を通じて、研修生が独立して就農できるようにサポートし、地域の果樹産地の維持と活性化を目指します。

果樹農業の新たな力！ 第一期トレーニングファーム研修生が始動

10月1日（火）、役場本庁舎で「八頭町果樹トレーニングファーム開講式」が行われ、第一期研修生の渡辺さんをはじめ、関係者らが出席しました。

果樹農家を目指す渡辺さんは「しっかりと技術と知識を学び、町内外に果樹農業の魅力伝えながら、期待に応えられる農家を目指します」と決意を述べ、JA鳥取いなばの植田代表理事専務は「先輩農家から栽培

技術をはじめ多くのことを学んで、産地を支える担い手になってほしい」と激励の言葉を送りました。



第一期研修生の渡辺さんを囲む関係者たち

二刀流で地域に貢献 第一期研修生の横顔

果樹トレーニングファーム第一期生の渡辺彌龍さん（31歳）は、神奈川県横浜市出身。研修期間中は八頭町徳丸の空き家住宅に移住し、果樹の栽培技術を学びながら、地域おこし協力隊としても活動していきます。

趣味はバイクツーリング。「準バイクで有名な八頭町内を散策したい」と、新たな生活や町での活動に期待を膨らませています。都会から

地方に移り住み、地域と密接に関わりながら農業の技術を学ぶことで、町の果樹産地を支える存在になるとともに、地域おこし協力隊として、果樹の魅力を情報発信しながら、果樹農業の担い手不足という地域課題の解決に取り組んでいってほしいと期待されます。



趣味のバイクに乗る渡辺さん



実地研修を受ける渡辺さん

八頭町の取り組み

町では、果樹農家の担い手不足を解消するため、「梨・柿栽培体験会」を開催し、就農への関心を高める取り組みを進めています。6月に行われた体験会には、町内外から11名の参加者が集まり、実際に梨の袋掛けや柿の摘果作業を体験しました。

参加者は、果樹栽培の楽しさややりがいを感じながら、農業への興味を深めていきました。



説明を聞きながら摘果作業を行う参加者

持続可能な農業の発展にむけて

農業就業者数が引き続き減少すると見込まれている中、将来にわたって持続可能な力強い農業を実現し、農業の競争力を強化していくためには、担い手の育成・確保、担い手への農地集積・集約化等を総合的に推進していく必要があります。

また、AIやドローンなど最新技術を活用したスマート農業の普及に必要な施策を展開することで農業のデジタル化と省力化を進め、新たな農業への変革を関係機関と連携して推進していきます。



まちの話題

話題・情報は、企画課へ

TEL 76-0212 FAX 76-0222
eメール yazu-kikaku@town.yazu.tottori.jp

**八頭高校男子ホッケー部
国スポ大会で鳥取県勢初の優勝**



佐賀国スポで県勢初優勝を飾った
八頭高男子ホッケー部選手たち

佐賀県で開催された第78回国民スポーツ大会ホッケー競技（少年男子）において、県立八頭高等学校男子ホッケー部が鳥取県勢初となる優勝を果たし、10月10日、在校生や保護者らが待ちわびる中、同校に戻ってきました。

花東贈呈を受けた田中主将は「今回は、決勝で1対1と引き分けた滋賀県代表伊吹高校と両チーム優勝という結果だったので、少し悔しさが残っている。この悔しさをバネに選抜大会では優勝したい」と、次大会への意気込みを語っていました。

**八頭の魅力を再発見
0円食堂で地域とつながるひととき**

9月15日（日）、frontier.schoolとジュニアリーダー「ブルーバード」が協力し、あーとふる八頭で地域の食材を使った「八頭町版0円食堂」を開催しました。

まずは地元の農家さんから農作物を無料で提供してもらい、参加者らでメニューを考案。野菜たっぷりのカレーやスイートポテトなど全6品を作り上げ、農家の方を招待して実食会を行いました。

企画した岡山大学の木下さんは「メンバーとの絆を深める目的で企画したが、想像以上に八頭の人のあたたかさを改めて感じた。」と話していました。



農家を訪ね食材を分けてもらう参加者たち

**東郡家地区まちづくり委員会
設立10周年記念祭を盛大に開催**



表彰を受けたまちづくり委員会参加者

9月24日（火）、東郡家地区福祉施設で「東郡家地区まちづくり委員会」設立10周年記念祭が開催されました。

セレモニーでは、10年間を振り返るDVD上映や、活動に貢献した方々への表彰が行われ、参加者は懐かしい思い出に笑顔浮かべていました。

山根委員長は「最初は7〜8人だった委員会も、今では50人規模となった。地域の支援に感謝し、これからも健康づくりや高齢者の居場所づくりに力を入れ、15年、20年に向けて頑張りたい」と決意を語りました。